

# 特集 地域で受け継ぐ水遺産

命の源である水を得るため、先人はさまざまな技や設備を生み出してきた。水を公平に配るための円筒分水や暮らしを守る堰堤などは「有形」の文化遺産として今も残る。一方、集落同士で定めた水の運用方法、あるいは集落内で守ってきた慣習などは「無形」の文化遺産だ。

「有形」「無形」を問わず、水にまつわる遺産には、その土地ならではの知恵と工夫が秘められている。今号は、水にまつわる遺産の地域における成り立ちと、実際に使っている人たちが、維持管理を担う人たちの姿を見つめて、「使いつづけている水遺産」の意義を考えたい。

## 目次

### 巻頭エッセイ

- 2 ひとしづく 瑞穂の国・用水路の国 藻谷浩介

### 特集 地域で受け継ぐ水遺産

- 6 概論 日本人は自然を相手にどう生きてきたのか 内山 節  
10 灌漑 使いながら守りつづける灌漑施設から学ぶこと 渡邊紹裕  
14 小規模水路：山村 わが集落にも水田を——先人の思いを受け継ぐ山腹水路 青鬼集落保全会（長野）  
18 広域用水路：農村 水利費を負担するのは誰か——江戸時代から続く知恵 関川水系土地改良区（新潟）  
24 技術 農業土木技術者「黒鯨」とは何者か？ 広瀬 伸  
28 住民活動：城下町 住民たちがきれいにするまちなかの用水路 雄川堰（群馬）  
32 湧水・川水：漁村 川や湧水で塩を抜く「テングサの洗い場」 伊豆漁業協同組合土肥支所&松崎支所（静岡）  
36 文化をつくる 水にまつわる遺産が示す地域における生き方 編集部

### Column

- 39 水の余話 水っ子 鳥越皓之

### 連載

- 40 水の文化書誌56 ダムのことあれこれ 古賀邦雄  
42 センター活動報告  
43 編集後記／ご案内  
（敬称略）